

～ 『地域最優の銀行』を目指して ～

## 地域密着型金融推進の取組み状況について

---

家庭の銀行



THE MICHINOKU BANK,LTD.

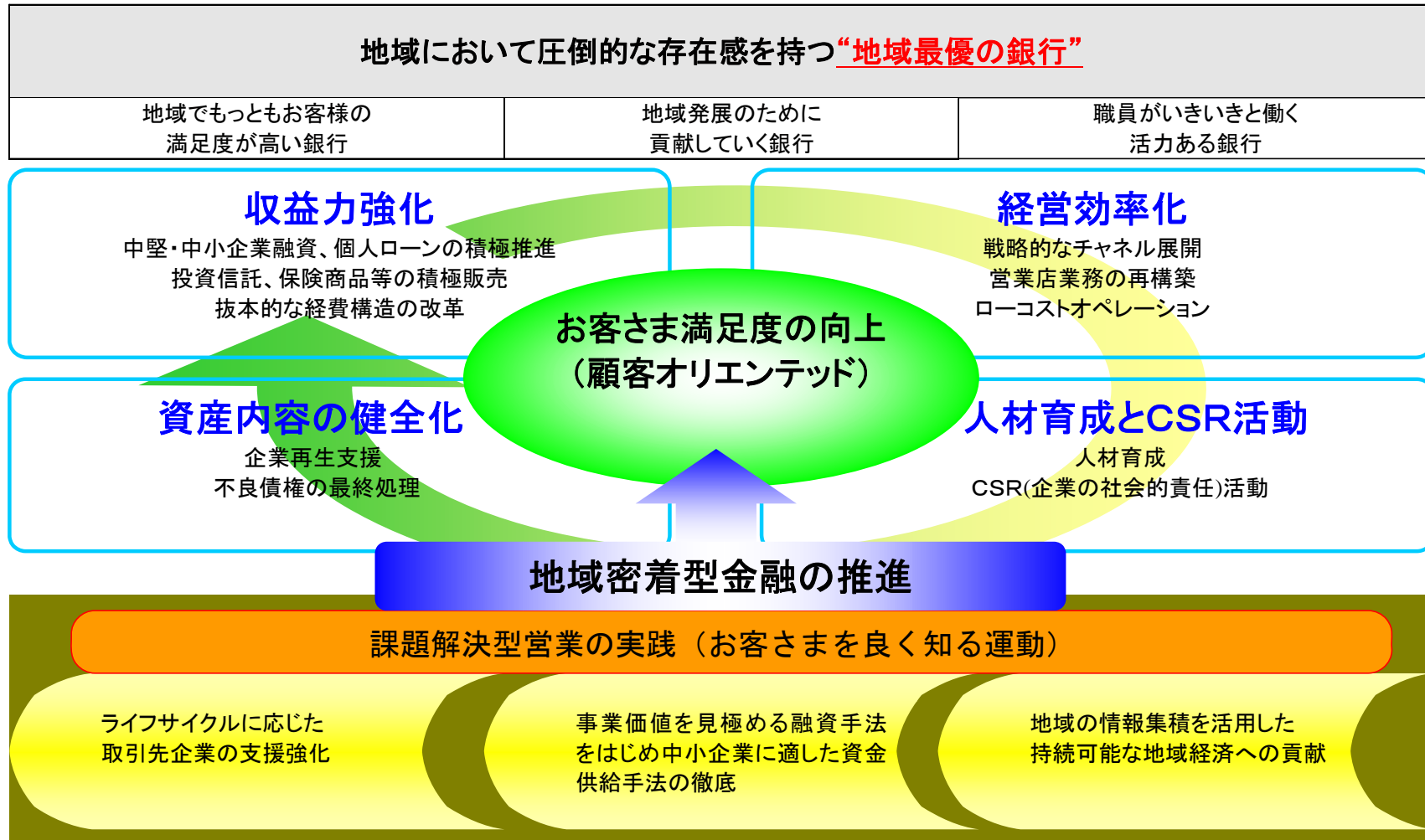
# 地域密着型金融推進に対する基本的な考え方

- 当行は、目指すべき銀行像として、地域において圧倒的な存在感を持つ「地域最優の銀行」を掲げ、地域でもっともお客さまの満足度の高い銀行、地域発展のために貢献していく銀行の実現に向け、各種課題に取り組んでおります。
- 地域のお客さまの多種多様なニーズにお応えするため、より質の高いサービスの提供を目指し、各種新商品等の開発や産学官との連携をはじめ、営業体制の整備や人材育成に重点的に取り組むことで、地域に根ざす銀行として、地域経済活性化や地域貢献への取り組みを積極的に推進してまいります。

# 地域密着型金融推進の位置付け

## 第一次中期経営計画～『地域最優の銀行に向けて』(H18. 4～H21. 3)

### ●基本方針(目指すべき銀行像)



## 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

### (1) 創業・新事業支援

地域ファンドの活用や制度融資の斡旋などにより、創業・新事業支援に取り組んでまいります。

#### 【平成19年度の実績】

- H19年6月、青森県の産業育成・地域経済活性化を目的とした「あおりクリエイティブファンド」(※)に150百万円を限度として出資いたしました。

※「あおりクリエイティブファンド」...「地域中小企業応援ファンド」のスキームを用いた全国初の地域ファンド

#### 【本ファンドの有効活用】

- ・平成19年度は、本ファンドにより4先に投資が決定し、そのうち1先と新たに取引を開始することが出来ました。
  - ・営業店とのタイアップ(情報収集・共有)により、当行のお取引先企業15先を本ファンドに紹介し、そのうち1先に投資が決定いたしました。
- 創業・新事業支援に対する活動として、9先に総額618百万円の融資を実行いたしました。そのうち2先については、青森市制度融資を活用いたしました。

## (2) 経営改善支援・事業再生

経営改善に向けたアドバイスの実践や、「再生ファンド」、「M&A」、「外部コンサル」等を利用した事業再生活動に取り組んでまいります。

### 【平成19年度の実績】

●債権の健全化を目的として、営業店と審査部が連携して活動を行う「経営改善支援先」と、融資部企業支援室が専門的に対応する「再生債権先」に対して、「経営改善支援活動」を行いました。

○その結果、ランクアップ先...6先

開示債権減少額 4,104百万円

## (3) 事業承継

「経営」と「資産」の承継を支援するニーズにお応えするため、サポート体制の強化に取り組んでまいります。

### 【平成19年度の実績】

●事業承継支援に対するニーズは高まっており、早急にサポート体制を強化する必要があることから、営業店部店長を対象として、外部講師を招いたセミナーを開催しました。

○19年度 開催実績 2回（平成19年7月 参加支店長 23名、平成19年9月 参加支店長 25名）

## 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

### (1) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

様々な資金調達ニーズにお応えするため、不動産担保・保証に過度に依存しない多様な融資手法の拡充に努めてまいります。

#### 【平成19年度の実績】

- 中小企業金融公庫との連携により、CLO(※)融資を実行いたしました。
  - ・実績 21件 475百万円 (過去3回の合計 68件 1,780百万円)
  - ※CLO... 貸出債権を証券化し投資家へ販売することで、市場から資金調達を行う手法
- 地域金融機関 4行SPC(※)を活用した債権流動化を推進しました。
  - ・実績 3件 極度額 660百万円 残高 440百万円
  - ※4行SPC... 荘内銀行、東北銀行、北都銀行、弊行が連携し設立した有限責任中間法人
- 当行が主体となり、シンジケートローンの組成を行いました。
  - ・実績 組成 1件 3,100百万円
- アグリビジネスへの参入を見据えて、外部機関との連携を行いました。
  - ・農業ビジネスへの支援拡大に向け、農林漁業金融公庫主管の農業経営アドバイザーを2名輩出いたしました。
- ビジネスローン(名称:『ふるさと応援団』他)の推進に力を入れてまいりました。
  - ・実績 実行 721件 7,852百万円 20年3月末残高 1,052件 8,586百万円

## (2)企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

セミナー等を通じた人材の育成により、目利き能力の向上に取り組んでまいります。

### 【平成19年度の実績】

●目利き能力向上に向けた取組みとして、行内研修を実施しました。

・支店長融資戦略研修	2回	延べ 28名参加
・事業承継コンサルティング研修	2回	延べ 41名参加
・企業調査実践研修		15名参加
・企業再生講座		26名参加
・企業調査研修		14名参加
・審査部トレーナー	7回	延べ 25名参加
・貸出管理研修会	4回	延べ125名参加
・財務分析研修		9名参加
・融資初任者研修		27名参加

●休日セミナー(名称:『みちぎんカレッジ』)を開催しました。

(「中小企業診断士受験対策セミナー」等を実施)

・実績 中小企業診断士合格者 2名を輩出

### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

#### (1) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

産学官連携やビジネスマッチングの推進により、地域のお客さまのお役に立つ情報を最大限活用し、地域経済活性化や地域貢献に向けた取組みを推進してまいります。

##### 【平成19年度の実績】

- 「(財)みちのく・ふるさと貢献基金」の設立および助成事業を開始しました。
  - ・H19年 7月 設立
  - ・H19年10月 「教育・福祉・環境」事業                      助成先 8先 助成金額 5百万円
  - ・H20年 4月 「地域振興」事業                                      助成先 4先 助成金額 5百万円
  
- 地元大学他との産学官連携を実現しました。(工業・農業・医業 分野)
  - ・H19年 5月 八戸工業大学                                      ・H19年11月 八戸工業高等専門学校
  - ・H19年 6月 弘前大学
  
- ビジネス商談会を県や金融機関等と連携して開催しました。
  - ・H19年11月 「上海経営者交流会」                      参加企業約 120社(うち商談した企業 29社)
  - ・H20年 2月 「首都圏展示商談会」                      出展企業 45社(当行からの参加企業 14社)
  
- 顧客満足度(CS)向上活動を実施しました。
  - ・窓口にご来店されたお客さまを対象としたアンケートカード(名称:『象の耳カード』)の活用
  - ・行内マナーアップ研修(名称:『ひまわり』)の開催、行員表彰制度CSアワードの創設